

施設等の種類	私立認可保育所						
施設名	社会福祉法人米子福祉会 五千石保育園						
所在地	米子市八幡715-1						
電話番号	0859-26-0130						
対象年齢	生後6週間から就学前まで						
利用定員	合計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
	90	9	27		54		
入所児童数 (R4.2.1現在)	95	9	13	15	20	18	20
	※実際の入所可能人数は年度によって誤差があります。						
開所日等	開所日：月～土 休園日：日・祝・12/29～1/3						
開所時間 (利用時間)	7時30分～19時00分(保育標準時間7時30分～18時30分) (保育短時間 8時30分～16時30分)						
保育理念	笑顔に出会える保育園 ～保護者と地域とともに～ 一人ひとりの子どもたちをまるごと受けとめ、安定して生活できる ぬくもりのある保育園づくりをめざします。						
基本方針	○家庭や地域社会と連携を図り、保護者の協力の下に養護と教育を一体的に行う。 ○子どもが健康で安全な生活ができる環境をつくることにより、情緒の安定をはかり、自己を十分に発揮し、健全な心身の発達を図る。 ○地域の子育て支援の拠点として、社会的役割を担う。 ○研修や自己研鑽に努め、専門職としての責務を果たす。						
保育目標	豊かな心としなやかなからだの育成をし、 友だちとのつながりを喜び合う仲間づくりに努める						
めざす子ども像	○命の尊さに気づき、命を大切にできる子ども ○自分の思いを伝え、相手の思いを知り、お互いに認め合い、協力し合う子ども ○基本的な生活習慣や態度を身につけ、健康的でしなやかなからだを持ち、元気に遊ぶ子ども ○いろいろなことに興味を持ち、意欲的に最後まで取組もうとする子ども						
職員配置	園長1名、園長補佐2名、保育士11名、調理員3名、						
設備の概要	鉄筋コンクリート造、平屋建、園舎面積607.56㎡、園庭1,000㎡ 乳児室1、保育室5、遊戯室1						
保育料等	・保育料：米子市が定める額						
利用者負担額	・延長保育料：18:30～19:00まで70円 その他は30分毎に50円 (令和元年度の金額です。変更する場合があります。)						

	品 目 名 (金額)	対象年齢	備 考
	副食費 (月額 5,000 円+ (250 円 ×土曜日の登園日数))	3～5 歳	
	口座振替手数料 月額 50 円 (+税)		副食費、延長保育料の支払で口座振替を選択される場合 (山陰合同銀行に限る)
	3 歳以上児用品 (約 8,000 円)	3 歳以上児	カラー帽子、体操服、体操ズボン、 自由画帳、マーカーペン、クレパス、 はさみ、道具箱、粘土、粘土ケース、 連絡ノート、のり (4 歳児以上)
	2 歳児用品 (約 2,600 円)	2 歳児	カラー帽子、自由画帳、粘土、粘土 ケース、マーカーペン
	1 歳児用品 (約 2,000 円)	1 歳児	カラー帽子、自由画帳、マーカーペ ン
	0 歳児用品 (0 円)	0 歳児	
	*この金額は令和 3 年度の価格です。参考にしてください。		
	月刊絵本 (月 440 円)	全園児	年度によって変わります
	保護者会費 (月 400 円)	全園児	毎年保護者会総会で決定
	スポーツ災害共済 (240 円)	全園児	
	※その他、行事等により保護者負担をお願いする場合があります。		
保護者で準備 いただくもの	品 目 名	対象年齢	備 考
	掛け・敷き布団、布団カバー、 布団袋	全園児	年長児は夏季のみ
	通園かばん、絵本袋	全園児	リュック等自由
	着替え	全園児	
	箸、スプーン、コップ、給食袋	1 歳以上	年齢により変わります
	上靴、上靴入れ袋	1 歳以上	6～9 月はビーチサンダル
	食事用エプロン	0～2 歳児	
	帽子	0 歳児	
園 の 紹 介	<p>*自然豊かな環境、広い園庭で伸び伸びと活動できます。</p> <p>*地産地消で安全な出来たての給食を、おいしく楽しく食べることを大切にしています。</p> <p>*食物アレルギーに対応した食事の提供をしています。</p> <p>*年長児と年中児は、年 5 回臨床美術講座を受けます。</p>		

* 菜園活動やクッキング、園で炊いたご飯を自分でおにぎりをして食べる「ほっかほかご飯の日」などを楽しみます。

* ご希望に応じ、個人懇談を適宜、開催しています。

* ホームページを開設しています (<http://www.yonago-fukushikai/net/>)

*大切にしていること

子どもたちの思いを大切に、生きる力を育む保育を進め、「自分が大好き、友だちが大好き、保育園が大好き」と思える「親子が笑顔で通える保育園」をめざしています。